

国語記述式参考問題例正解

第 1 問 問 1	
正答の条件を全て満たしている解答の例	例 1 ・カラーテレビと白黒テレビの普及率が逆転（19 字） 例 2 ・カラーテレビが白黒テレビより増加（16 字） 例 3 ・カラーが急激に増えて白黒を逆転（15 字）
正答の条件	正答の条件は次の 3 つとする。
	① 20 字以内で書かれていること。
	② 文末表現が「する」に適切に続くように書かれていること。
③ カラーテレビの普及率が白黒テレビの普及率を上回ったことが、数字を用いずに書かれていること。	
問 1 の 段階	a 条件①～③のすべてを満たしている解答
	b 条件①, ③を満たしている解答（②のみ満たしていない） 条件②, ③を満たしている解答（①のみ満たしていない）
	c 条件③のみ満たしている解答（①, ②は満たしていない）
	d 上記以外の解答 無解答
(注) 正答の条件を満たしているかどうか判断できない誤字・脱字があった場合は、条件を満たしていないこととなる。	

参考：問 1 の段階表

問 1		正答の条件		
		①	②	③
段階	a	○	○	○
	b	○	×	○
		×	○	○
	c	×	×	○
	d	○	○	×
		○	×	×
		×	○	×
		×	×	×

第1問 問2

正答の条件 を全て満た している 解答の例	<p>例1 ・自宅では白黒テレビで見たにもかかわらず、東京オリンピックの映像はカラーで記憶していたという体験。(48字)</p> <p>例2 ・白黒で見たのにカラーで見たように、開会式の入場行進の真っ赤なブレザーを鮮明に覚えているという体験。(49字)</p> <p>例3 ・自宅には白黒テレビしかなかったのに、東京オリンピックからカラー中継が始まったと思い込んでいた体験。(49字)</p>								
正答の条件	<p>正答の条件は次の4つとする。</p> <p>① 50字以内で書かれていること。</p> <p>② 具体例として、東京オリンピックにおける映像に関わることが書かれていること。</p> <p>③ 筆者が実際に見たのは「白黒」テレビだったことが書かれていること。</p> <p>④ 現在は「カラー」で記憶されていることが書かれていること。</p>								
問2 の 段階	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">a</td> <td>条件①～④のすべてを満たしている解答</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">b</td> <td>条件②～④を満たしている解答 (①のみ満たしていない)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">c</td> <td>次のいずれか (①は満たしていても満たしてなくてもよい) 条件②, ③を満たしている解答 (④は満たしていない) 条件②, ④を満たしている解答 (③は満たしていない) 条件③, ④を満たしている解答 (②は満たしていない)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">d</td> <td>上記以外の解答 無解答</td> </tr> </table>	a	条件①～④のすべてを満たしている解答	b	条件②～④を満たしている解答 (①のみ満たしていない)	c	次のいずれか (①は満たしていても満たしてなくてもよい) 条件②, ③を満たしている解答 (④は満たしていない) 条件②, ④を満たしている解答 (③は満たしていない) 条件③, ④を満たしている解答 (②は満たしていない)	d	上記以外の解答 無解答
a	条件①～④のすべてを満たしている解答								
b	条件②～④を満たしている解答 (①のみ満たしていない)								
c	次のいずれか (①は満たしていても満たしてなくてもよい) 条件②, ③を満たしている解答 (④は満たしていない) 条件②, ④を満たしている解答 (③は満たしていない) 条件③, ④を満たしている解答 (②は満たしていない)								
d	上記以外の解答 無解答								

(注)

正答の条件を満たしているかどうか判断できない誤字・脱字があった場合は、条件を満たしていないこととなる。

参考：問2の段階表

問2		正答の条件			
		①	②	③	④
段階	a	○	○	○	○
	b	×	○	○	○
	c	○	○	○	×
		×	○	○	×
		○	○	×	○
		×	○	×	○
		○	×	○	○
		×	×	○	○
	d	○	○	×	×
		×	○	×	×
		○	×	○	×
		×	×	○	×
		○	×	×	○
		×	×	×	○
		○	×	×	×
		×	×	×	×

第 1 問 問 3

正答の条件 を全て満た している 解答の例	<p>例 1 ・「虚構を排して描く」という部分に対して疑問をもった。なぜなら、事実と異なるにもかかわらず、東京オリンピックの時からカラーテレビによる放送が始まったという言説もあるように、過去の生活や体験を虚構を排して描くことは難しいと考えられるからである。(120 字)</p> <p>例 2 ・「虚構を排して」となっていることが不正確ではないかと考えた。フリーマンが「過去の出来事は現在の経験に符合するように解釈され、一つのストーリーの部分となるように紡ぎ合わされる」と指摘するように、虚構を完全に排除することは難しいからである。(118 字)</p> <p>例 3 ・作者自身の「生活や経験したことを虚構を排して描き」という点に疑問をもった。なぜなら、それは記憶としての生活や経験であり、その記憶は現在の観点から意味づけられるため、虚構の要素が入り込まざるを得ないからである。(104 字)</p>								
正答の条件	<p>正答の条件は次の 5 つとする。</p> <p>① 80 字以上、120 字以内で書かれていること。</p> <p>② 二つの文に分けて書かれていること。</p> <p>③ 一文目に、疑問をもった部分として、「虚構を排し(て描き)」が含まれていること。</p> <p>④ 二文目に、根拠として、記憶は後の生活や経験、または、現在の視点から、意味づけられたり再構築されたりすることが書かれていること。</p> <p>⑤ 二文目に、理由として、虚構を排して描くことはできないことが書かれていること。</p>								
問 3 の 段階	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 5%;">a</td> <td>条件①～⑤のすべてを満たしている解答</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">b</td> <td>条件①, ③～⑤を満たしている解答 (②は満たしていない) 条件②～⑤を満たしている解答 (①は満たしていない)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">c</td> <td>条件③～⑤を満たしている解答 (①, ②は満たしていない) または、次のいずれか (①, ②は満たしていても満たしてなくてもよい) 条件③, ④を満たしている解答 (⑤は満たしていない) 条件③, ⑤を満たしている解答 (④は満たしていない) 条件④, ⑤を満たしている解答 (③は満たしていない)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">d</td> <td>上記以外の解答 無解答</td> </tr> </table>	a	条件①～⑤のすべてを満たしている解答	b	条件①, ③～⑤を満たしている解答 (②は満たしていない) 条件②～⑤を満たしている解答 (①は満たしていない)	c	条件③～⑤を満たしている解答 (①, ②は満たしていない) または、次のいずれか (①, ②は満たしていても満たしてなくてもよい) 条件③, ④を満たしている解答 (⑤は満たしていない) 条件③, ⑤を満たしている解答 (④は満たしていない) 条件④, ⑤を満たしている解答 (③は満たしていない)	d	上記以外の解答 無解答
a	条件①～⑤のすべてを満たしている解答								
b	条件①, ③～⑤を満たしている解答 (②は満たしていない) 条件②～⑤を満たしている解答 (①は満たしていない)								
c	条件③～⑤を満たしている解答 (①, ②は満たしていない) または、次のいずれか (①, ②は満たしていても満たしてなくてもよい) 条件③, ④を満たしている解答 (⑤は満たしていない) 条件③, ⑤を満たしている解答 (④は満たしていない) 条件④, ⑤を満たしている解答 (③は満たしていない)								
d	上記以外の解答 無解答								
<p>(注) 正答の条件を満たしているかどうか判断できない誤字・脱字があった場合は、条件を満たしていないこととなる。</p>									

参考：問3の段階表

問3		正答の条件				
		①	②	③	④	⑤
段階	a	○	○	○	○	○
	b	○	×	○	○	○
		×	○	○	○	○
	c	×	×	○	○	○
		○	○	○	○	×
		○	×	○	○	×
		×	○	○	○	×
		×	×	○	○	×
		○	○	○	×	○
		○	×	○	×	○
		×	○	○	×	○
		×	×	○	×	○
		○	○	×	○	○
		○	×	×	○	○
		×	○	×	○	○
		×	×	×	○	○
		d	○	○	○	×
	○		×	○	×	×
	×		○	○	×	×
	×		×	○	×	×
	○		○	×	○	×
	○		×	×	○	×
	×		○	×	○	×
	×		×	×	○	×
	○		○	×	×	○
	○		×	×	×	○
	×		○	×	×	○
	×		×	×	×	○
	○		○	×	×	×
	○		×	×	×	×
	×	○	×	×	×	
	×	×	×	×	×	

総合段階

「総合段階」はA～Eの5段階で表されます。

設問ごとの「段階」を下記の表に当てはめます。

問1と問2の結果を縦軸にとり、問3の結果を横軸にとります。

それぞれの結果が重なった部分に記載されているアルファベットが総合段階になります。

次ページに例が載っています。

問1, 問2 (順不同)	a, a	C	B	A	
	a, b	D	C		
	a, c		E	D	C
	b, b	D		C	B
	a, d		D	C	B
	b, c	D		C	B
	b, d		D	C	B
	c, c	D		C	B
	c, d		D	C	B
	d, d	D		C	B
	d		c	b	a
	問3				

例：各設問での「段階」が、問1 = c, 問2 = a, 問3 = bだった場合

